

歓迎の言葉



公益財団法人東京都体育協会
理事長 並木 一夫

第59回全国スポーツ少年大会が、東京都において開催されますことを心からお慶び申し上げます。

本来なら、全国各地から参加されるスポーツ少年団員の皆様や、指導者の皆様のお顔を拝見しながら歓迎の喜びをお伝えする予定でしたが、今回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、やむを得ずリモート形式によりお迎えしております。団員の皆様方におかれましては、制約された状況下においてご参加いただき、心から感謝申し上げます。

さて、先日、史上初めて1年延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会が閉幕しました。様々な逆境を乗り越え、挑戦し続けるアスリートの姿は、皆さんに勇気と感動を与えてくれたのではないのでしょうか。なかでも、アスリート同士が互いに健闘を称えあう光景は、素晴らしいパフォーマンスやメダルを超えた感動を生みました。

相手への思いやりや感謝の気持ちなどの思いを込めた、今大会のスローガン～五つの「わ」＜輪・話・和・環・WA！＞～のとおり、改めて東京2020大会を振り返りながら交流と学びの場となるよう期待しております。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の余韻が残る会場の紹介や、アスリートとの交流などのプログラムもご用意しておりますので、少しでも東京を身近に感じていただき、後日改めて、東京を訪れるきっかけとなれば幸いに存じます。

結びに、本大会の開催に当たり、ご尽力いただきました公益財団法人日本スポーツ協会をはじめ、大会関係者の皆様に感謝の意を表しますとともに、参加者の皆様のご健勝を心から祈念申し上げまして、歓迎の言葉といたします。